様式第4号

令和７年度の教育活動に対する学校評価表【浜松スクーリング会場 】

キラリ高等学校　2025.2.7

学校番号	44	キラリ高等学校	課程	通信制	記載者	教頭　岩ケ谷佐知子

A：よくできた　B：だいたいできた　C：不十分だった　D：ほとんどできなかった

	今年度の重点目標（学校経営目標）	具体的取り組み計画	自己評価	成果と課題	学校評価	学校関係者評価委員　意見
1	静岡県で最初に認可された狭域通信制高校として様々なニーズに対応するために、総合的な教育力をより一層向上させる。	① 基礎学力の確実な定着を図るため、各教科担当間のコミュニケーション量を増し情報共有をしたうえで、よりわかり安い授業を展開する。生徒・保護者面談を通し、主体的に学習に取り組めるように導く。 ② 学校内はもとより校外での生活指導も継続して実践・強化し、基本的な社会性・モラル・社会通念上の規範意識の徹底を図る。 ③ 遠足・修学旅行・文化祭などの特別活動や校外スクーリングをより充実させ、多くの生徒が積極的にかかわれるようにする。（全校での体育祭） ④ 進路選択において必要な基本的な知識・技能を育成し、進路決定を自ら推進できるよう導く。（外部機関・企業との連携）	B	①先輩教員に積極的に質問し、授業の工夫を行い、生徒が楽しみつつ興味を持てるように教材研究に励んだ。 ただ講義を行うだけではなく、作例や動画など視覚を使い、興味を継続出来る授業を心がけた。 同じ教科間でレポートや試験の作成、授業展開、使用教材などについて細かく話し合うことができた。 生徒が学習しやすく、学力の定着に繋がる環境づくりについても情報共有することができた。 学習内容については指導要領の内容を網羅できているかという点において課題が残る。 ②生徒と積極的にコミュニケーションを取ることで、生徒の交友関係やアルバイト先を把握することができた。 授業中の校舎内の見廻りや放課後の見廻りを通して生活指導を徹底できた。 学外での生活や卒業後の社会で有意義に過ごしていける教育として、教科内容を実社会での実学に繋げて学ばせることができた。 多様な生徒を受け入れている関係上、予防的な生徒指導を行い、トラブル等を未然に防げるように対策が必要である。 ③行事はどれも大いに盛り上がり、生徒の満足度も高かった。 様々な行事に生徒が主体的に関わり、同級生や先輩・後輩で協力し、協調性を持って行動することができた。 行事では、多くの生徒が楽しむことができるように、注意深く生徒観察を行い、1人1人の生徒に声掛けを行った。 すべての行事に参加する生徒がいる一方で、全く参加しない生徒もいる。 ④ボランティア活動の促進や学校説明会への早期参加を勧めるなど、早い段階から進路について模索する時間を設けることができた 昨年度の活動に加え、コースイベントで実際に大学に訪問するなどの新たな施策も有意義だった。 外部との接触が増え、選択肢の提示に幅を持たせることができた。 進路について生徒と綿密に話し合いを行うことができたが、特性の強い生徒に対してのフォローは課題が残る。	BB	・軽度知的があるが自由に勉強も高校生活も楽しみたいという、通常の高校と特別支援学校高等部しか選択肢がなくどちらも自分に合わないと感じ行き場がなかったグレーゾーンのこどもたちのセーフティネットの役割も果たしてくれていると感じます。 ・とてもよくやってくださってると思います。 ・就職活動についてハローワーク求人だけでなく、地元企業からの指定校求人がもらえる様になれると良いと思います。 ・昨年と比べると、進路のイベントの参加機会が減ってしまったように感じます。授業編成や、生徒人数によっても実施の方法を考える必要があるかと思いますので、ご提案させていただきます。 ・特別活動や校外学習、校外ボランティアなどに生徒を積極的に参加させ、社会性やモラルを養うカリキュラムが充実していると感じる。 ・基礎学力の定着の為、授業・レポートを工夫してくださっている事、行事などを多く設定する事で生徒が楽しみながら人と関われる環境を作ってくださる事などから、高校卒業後に自分でしっかりと歩いていけるよう働きがけてくださっていることがわかり良いと思いました。
2	生徒一人一人の個性を伸ばし、より細やかな指導を行う。	① 困難を有する多様な生徒（不登校傾向・問題行動・発達障害等）が積極的かつ充分な教育を受けられるように、学習に対する動機づけや学びの意欲を喚起できる教員の養成を行う。（スクールカウンセラーの活用） （テスト前勉強会等）（キラリカフェの充実・・保護者同志の連携共有） ② 個別対応、部活動、キャリア教育、インターンシップなどの分野に十分対応できる教員を育成する。また専門の機関・企業の協力も進める。 ③ 各校舎・教科単位で内部研修を実施し、キラリ高校の職員として共通の認識の上で、教職員の組織化を推進する。また、外部研修を活用して、多様な困難を有する生徒に対する支援強化を行い、各教職員の指導力・対応力を向上させる。（全体での教科研修の定例化） ④ 未履修・休学中の生徒やその保護者へのアプローチを継続して行い、再履修および復学を促す活動をする。家庭訪問の計画的実施を行う。	B	①スクールカウンセラーの助言のもと病院や行政とも連絡をしながら対応ができた。必要に応じて中学校とも連携できた。 多くの生徒が学校における教育相談を受けられるようになり、セーフティーネットとして機能している。 生徒情報管理を工夫した結果、特別な配慮や傾聴が必要な生徒など問題の可視化・会場間での共有が有効にできた。 カウンセリングの効果で学校に来ることができる生徒が増えたと感じる。 声掛けなどの取組を行っても、登校の定着に繋げることが難しい生徒もいる。 ②企業や専門学校、大学等との交流の機会が増え、生徒が進路決定を行う上での判断材料が整ってきた。 年々対応力が上昇していると感じるが、キャリア教育やインターンシップについては外部との連携がもっと必要と感じる。 生徒の特性に合わせて担任以外が個別対応を行ったり、部活動も積極的に行っており、生徒に合わせた環境づくりができていた。 全国大会や東海大会への出場など部活動で輝けることができるということを実感できた。 ③内部・外部研修を通じて様々な状況に対応できる力を個々で身に付けることができていると感じる。 職員会議での話合いや教科内会議により、共通認識をもったり、校舎間の横のつながりを持てたりした。 研修をもっと実施したい気持ちはあるが、業務に追われ難しい実態もある。 新任教員が抱える業務も多く、研修や周囲の教員ではカバーしきれていない現状もある。 ④教員は生徒の状況改善に真剣に携わっている。電話相談、手紙での連絡、家庭訪問等で大きな改善が見られた。 家庭訪問等を実施して、ある程度の成果を出せたと感じている。 丁寧な声掛けを心がけ、復学に向けたアプローチを試みた。	AB	・ADHD、軽度知的、不登校気味な息子が学校が嫌じゃなくなったと言い、レポートをがんばっています。学習面で難しいことがわかっているので、一緒にレポートをやる補習をしてくれてやれています。 ・生徒数に対して、多いとは言えない先生の数で、丁寧に見てくださっていると思います。 ・通学に対して家庭との協力を募るのであれば、スケジュール等をもう少し明確化して欲しい。自分の子がいつ何時から学校なのかよく分かっていない。 ・先生方と生徒さんの距離が近いことで、のびのびと学ぶことができていたと感じました。 ・多様な生徒に対して少ない職員の皆様で対応するのはとても大変なのではと思うが、私の息子も含めよく声掛けし話をきき、やさしく対応してくださり素晴らしいと思う。 ・吉田本校以外の評定がBでしたが、過小評価だと思いました。(Aで良いと思います) 先生方へは、長女が在学中はとにかく生徒に寄り添ってくださり感謝しかありませんでした。 友達関係で少しでも問題があれば、必ず時間を作り話を聞き一緒に悩み考えてくださったり、不登校気味の生徒がいれば、なんとか関わりを作ろうとあらゆる方法を試してくださったそうです。 進路指導も熱心にしてくださってますが、大学や企業の話などを聞く機会などがあれば、卒業後に残念な結果になることが少なくなるのではないでしょうか。 授業以外の部分での仕事が多く、忙しく難しいところもあるかと思いますが、教員間の連携も取れているように感じ、担任だからということではなく、校舎ごとに職員全員で全員の生徒を見守り指導してくださる感じが素晴らしいと思います。 ・通信制という難しい環境でも生徒さんのことを考えてやっているよい学校だと思いました。
3	技能連携教育施設（スクーリング会場）のカリキュラム(コース）の改編を推進し、通学タイプの充実を図る。	① より多くの生徒が通学タイプの全日スタイルを選択しやすいように、コース内容の改編を図り、魅力あふれる内容の転換を目指す。 ② ①を推進するために、スクーリング会場ごとにコース担当を決め、会議を行い、コース内容の検討・充実化を図る。 ③ 他会場との連携および意見交換を積極的に行い、より綿密に個々の生徒へ対応する。また昨年来の課題であった授業研修を本格化させる。	B	①通常授業参加が難しい生徒がコース授業に参加できている場合もあり、そのような生徒のよい居場所になっていると感じる。 コースによっても参加率に差があり、生徒のニーズに合ったコース授業の検討と継続的な登校につなげるための工夫が必要である。 検定に縛られない楽しい時間もしっかり提供できるようコース内で新たな企画も催して実施できた。 美容コースやEスポーツコースなど、生徒の需要と教員の負担を踏まえつつ、コースの新設を検討しても良いのではないか。 ②定期的に話し合いや会議での意見交換などを通じてコース授業に生かすことができている 進学コースでは難易度に対する要望が多く、クラス分け等を行うことで要望に応えることができた。 魅力的な授業とは何かという問いを定期的に立て。形骸化した内容にならないように生徒の反応を見て柔軟な対応を目指した。 浜松では在籍生徒が多いので、他の校舎と同じ感覚では進められないのが現状。 ③音楽芸術コースなど、他会場と共同での活動は昨年度と比較しても増えている。 他会場との協力や連携は積極的にできた。他会場の状況を実際に見学したり、研修ができるようになれば良いと思う。 各校舎の商業科の先生方と密なコミュニケーションに務め、教科指導、検定指導、検定実施がスムーズに行えた。	BB	・ジョイスポーツコースで色々なスポーツを体験できるのが非常に魅力的だか、ゴルフ等の移動がかなり大変そう。 ・通学スタイルを進めていくにあたって、生徒さんへの情報提供ができる講演会を実施できないかとお話をいただきました。卒業後の進路をより豊かにするための取り組みとしてとても良いものだと感じています。 ・自分に合ったコースを選択することができ、無理なく通学できたと思う。 ・カリキュラムコースを、時代や生徒の望む環境に合わせて変更していく取り組みは良いと思います。興味を持てるコースであれば、通学する意欲にも繋がり卒業後の進路選択にも役立つのではないでしょうか。 ・今まで通りで良いと思います ・毎日学校に通うことはとてもよいことだと思います。 ・他の会場では様々なコースが用意されており、こどもたちの選択肢がひろがることを期待しています。 ・通学タイプの充実も大切ですが、いつまでも吉田校のウィークリーコースがなくならないことを願っています。
4	吉田本校の整備・拡充	① 定着しつつある、週３日の平日スクーリング（ウィークリースタイル）を継続して実施し、部活動、キャリアデザイン、インターンシップ、ボランティア等様々な活動を通じ高校生活の充実を図る。 ② 生徒の社会性を高めるために各種イベントを企画することで、様々なニーズに合わせた学校生活の充実を図る。	－		－	
5	ＩＣＴ教育及び校務システムの整備	① レポート（添削指導）のデジタル化への推進と改善。 ② 校務支援システムに関して、生徒増に対応すべくさらなる業務の効率化を図るため、システムの整備・拡充を図る。	B	①教科内で協議・意見交換を行い、デジタル化を最大限生かす工夫を行うことができた。 生徒・教員共にシステムの理解が深まり、スムーズに対応できるようになってきた。 依然としてシステム上のトラブルで生徒に迷惑をかけることがあった。 サーバー負荷によるエラーが何度か発生したため、生徒への不利益や教員の採点業務が滞った。 ②生徒・教職員ともシステムに慣れ、出席簿作成や成績情報など業務の効率化と経費削減を実感できた。 システムを最大限活かす研修も今後有効ではないか。 美術という科目の性格上、紙のレポートも取り入れデッサンなどの課題は無くさないようにしたい。	AB	・携帯でのレポート提出のおかげで家でも勉強に取り掛かるハードルが下がり自主的にやっている姿をが見られました。 ・デジタル化が進むと、文字を書くことが少なくなってしまうと思うので、社会に出た時に困らないよう、文字を手で書く機会を持って欲しいと思います。 ・レポート提出の際のサーバダウンが多くあった様なので、そちらの改善をお願いします。 ・今後ますますインターネットが必要となってくると思いますが、紙媒体も合わせて、生徒さんの進路活動をよりよくするサポートができればと思っております。 ・サーバーへ接続しにくくなることはあるが、自分がらくな姿勢でいつでもレポートに取り組めるため、宿題をやりやすくなったと思う。 ・電子化でのレポート提出はまだまだスムーズにいかないようなので、引き続き改善に力を入れていただくようお願いします。 個人的には、紙に書くことでしか得ることが出来ないものもあると思うので、浜松校舎の美術のレポートでのデッサンなどの課題は無くさないという姿勢がとても嬉しかったです。